

San Diego Japanese Ministry

AUG 2026

2026

SUMMER CAMP
JAPAN FAIR



SUMMER CAMP @JULIAN 証

「神は、どのような苦しみのときにも、私たちを慰めてくださいます。それで私たちも、自分たちが神から受ける慰めによって、あらゆる苦しみの中にある人々を慰めることができます。」 コリント人への手紙第二 1章 4節

CAMPとJAPAN FAIRでは、多くのクリスチャンがそれぞれの賜物を生かし、喜んで奉仕している姿に深く感動しました。柏倉牧師ご夫妻を中心に、多くの方が一つとなって準備を進める様子は、まさにキリストの体そのものでした。

私は、キャンプ中はスモールグループで子ども達と関わり、「遊ぼう!」と何度も声を掛けてもらえるほど仲良くなりました。また、保護者の方からは「うちの幼稚園で先生をしてほしい」とまで言っていただき、神様が与えてくださった保育士という賜物を、この地でも用いていただけたことを感謝しました。特に心に残ったのは、未信者のお母さんからいただいた言葉です。

「子ども達を見ていてくださっておかげで、安心して聖書のお話を聞き、ディスカッションにも参加できました。本当にありがとうございます。」と、そう感謝してくださり、「美保さんも日本から来られたのだから、本当はご自身も学びたかったのではありませんか」と気遣ってくださいました。私は、「お母さん達が神様のお話を聞き、救いへと近づくお手伝いができることが、私にとって一番嬉しいことです」とお伝えしました。神様が私に与えてくださった賜物を通して、福音宣教のお役に立てたことを本当に感謝しました。

ジャパンフェアのキッズアクティビティでは、まだお母さんと離れたことのない小さなお子さんを預けることに迷われている親子がいました。しかし、神様が現役保育士としての経験を用いてくださり、そのことをお伝えすると、喜んで任せてくださいました。そのお子さんは泣くこともなく、絵本の読み聞かせやシール貼りに夢中になって過ごしてくれました。

また、神様は私自身にも大きな恵みを与えてくださいました。CAMPとJAPAN FAIRに参加する前、ロサンゼルスからサンディエゴへ向かう途中、駅が閉まっていて駅員もおらず、途方に暮れて祈った時、一人のクリスチャン女性が現れました。その方は、チケットの買い方も分からなかった私のために、私のアムトラックのチケットを自分のクレジットカードで購入してくださいました。しかも代金をお返ししようとしても受け取らず、「IT'S OK! YOU ARE MY BLESSING TODAY. (大丈夫。あなたは今日の私の祝福です。お手伝いできてうれしいです。)」と笑顔で話してくださいました。神様は必要な時に必要な人を備えてくださるお方であることを、身をもって体験しました。今回の宣教旅行では、多くの牧師先生ご家族やクリスチャンの兄弟姉妹の皆様から惜しみない愛と親切をいただき、その一つ一つを通して神様の大きな愛を感じました。

日本で生活していると、いつの間にか世の価値観に心が向いてしまうことがあります。しかし今回の宣教旅行を通して、神様の愛は天空よりも広く、大海よりも深いことを改めて教えられました。 MIHO NARITA



JAPAN FAIR 2026

今年のJAPAN FAIRは、去年の教訓を生かし、伝道イベントが単発で終わらないように！と、その前に2泊3日のCampを行いました。ところが、家族としても教会としてもアメリカでCampをすること自体がはじめてでしたから、大きなチャレンジでした。

一方、私も妻も独身時代から、これまで数多くのCampを経験していたこともあり、Camp自体が全く知らないというものではありませんでした。ですから、Camp自体への不安はほとんどありませんでしたが、はじめて行う場所であるということと、未信者の方々を含め約60名の方々に導く責任があるということに、不安がありました。

そもそもなぜCampを行うようになったのかと言えば、冒頭記しましたように、伝道イベントが単発に終わらないように、関係性を深め、信頼を築いていく作業がどうしても必要だと思われたからです。Campはそのためにまさに最高の機会です！実際、Campを通して大きな団結が生まれ、そこに豊かなキリストの愛の実を至る所で見ることができました。素晴らしかったです！

また、昨年に続きロングビーチのベサニー教会と日本から短期宣教チームが来てくださり、皆さん最後の最後まで徹底して仕えてくださいました。しかも皆さん喜んで仕えてくださいました。さらに今年はアリゾナのデザート・スプリングス・コミュニティー・チャーチからも短期宣教チームが来てくださり、彼らもまた心から喜んで奉仕し、熱心に仕えてくださいました。この皆さんがいなければ、決して私たちだけではCampもJAPANFAIRも行うことができませんでした。本当に心から感謝しています。

「キリスト・イエスにある聖徒の一人ひとりに、よろしく伝えてください。

私と一緒にいる兄弟たちが、あなたがたによろしくと言っています。」 ピリピ人への手紙 4：21



また、Campには参加しなかったけれども、JAPANFAIRのために、背後で労苦してくださった教会の方々や友人クリスチャン、そしてたくさんの方々の祈りの友の皆様がいたことも忘れてはいけません。

パウロはその多くの手紙の中で「〇〇によろしく」と記していますが、中には「二人(プリスカとアキラ)は、私のいのちを救うために自分のいのちを危険にさらしてくれました。…」と、彼の働きは決して自分一人だけではなく、多くの人々に助けられてきた経験があったからこそ、彼はいつも感謝していました。疲れている中でも私の通訳をしてくださったWaters牧師とノア兄にも心から感謝しています。

さて、Campでは約30名、JAPANFAIRでは約45名が未信者の参加者でした。彼らの中から救われる魂が起されますようにどうぞ篤い祈りをお願いいたします。心から感謝して。 柏倉秀吉

